

## メッセージキッズ/ケア 突き板 上貼り用

このたびは、弊社商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。本書には施工に関するポイントや注意事項をまとめております。商品の特性をご理解いただき、安全でより美しい仕上がりに施工していただくために、施工前に必ず本書をご一読くださいますようお願いいたします。

### 安全上のご注意



#### 注意

※この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」です。

- 接着剤を使用する際は、換気を十分に行ってください。
- 接着剤を使用する前に必ず接着剤容器に記載されている、安全上の注意、使用方法、使用上の注意を読み正しくご使用ください。
- 安全上のご注意を守られない場合は、健康を害するおそれがあります。

### 施工上のご注意

- ①この商品は、上履き用施設向けの床材です。  
屋外及び土足用として使用される居室にはご使用になれません。また、屋内でも浴室など、湯気にさらされたり、たえず水がかかったりするところでは、ご使用になれません。
- ②このフロアはJASの曲げ性能区分「直張用」となっています。施工可能な下地についてご確認ください。
- ③床暖房に施工する際は、床暖房放熱体メーカーの施工説明書をよく読み、注意事項を守って、正しく施工してください。なお、適合機種については弊社又は床暖房放熱体メーカー様にご確認ください。
- ④直射日光に当たったり、雨に濡れる場所、湿気の多いところでは保管しないでください。  
長時間、水に濡れたまま放置しますと、カビの発生や腐れ、変色、ひび割れ、はがれなどの原因となります。また、立てかけ状態での保管を避け、開梱後は速やかに施工してください。
- ⑤既存床(上貼りフロアを施工する下地材)が濡れていないことをご確認ください。既存床が濡れていると施工後、フロアへのカビの発生、変色、突き上げ、スキ、反り、床鳴り(踏み鳴り)が発生する事がありますので、既存床の含水率が確実に14%以下になってから施工してください。
- ⑥接着剤は必ず指定の接着剤をご使用ください。  
指定以外の接着剤(木工用白ボンドなど)を使用すると、フロア施工後、床鳴り(踏み鳴り)や接着不良、スキ、反りなどのトラブルの原因となります。特に、指定以外の接着剤(木工用白ボンドなど)は、床暖房のパイプを劣化させる原因となりますので、床暖房には使用しないでください。
- ⑦指定以外の釘は使用しないでください。指定以外の釘を使用するとフロア表面が膨れたり、フロア表面を傷つけるおそれがあります。
- ⑧**特殊工法A・Dでは、必ず指定の長さ10mm フィニッシュネイルをご使用ください。指定以外の釘を使用すると既設床暖房設備を打ち抜いて、破損に繋がるおそれがあります。**
- ⑨ゴムハンマーを使用する場合は、必ずフロアを損傷させにくい生ゴムハンマー(色: 橙色、材質: 生ゴム、重量: 約450g、ゴム硬度: 約60度)を使用してください。また、劣化して固くなった生ゴムハンマーは使用しないでください。
- ⑩施工前に必ず仮並べを行い、色の濃淡、空柄など、部分的に片寄らないように、全体の色柄のバランスをご確認ください。
- ⑪施工工具は、各工具の取扱説明書に従って、適切に保護具(保護メガネ、防じんマスクなど)を使用してください。特に、フロアカット時は木粉により、むせる場合があります。
- ⑫木質フロアは湿度の変化により伸縮する性質があります。特にフロア長辺側の巾木や被せ見切りの下などには、必ずスキ間を設けて、伸びを吸収できるようにしてください。
- ⑬ワックスを塗布されますと、フロアの表面がワックスの被膜となるため、傷のつきにくさ、抗菌・抗ウイルス性等の塗膜性能が発揮されなくなります。
- ⑭既設床暖房設備上・無遮音直貼り上の床鳴りは、補修することは困難であり、また、フロアを施工することで床鳴りはなくなりませんので、あらかじめ現状を必ずお伝えください。

### ✓施工前にご確認ください

**既存床(下地材)の種類により、施工方法・必要となる道具が異なります。**

共通事項および、該当する既存床のページを必ずご一読くださいますよう、お願いします。

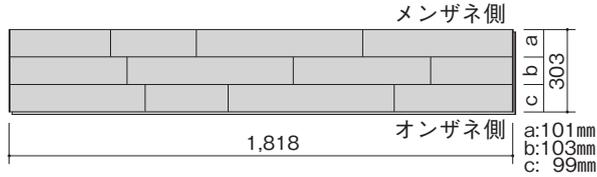
共通事項		既存床(下地材)の種類	工法	ページ
共通事項	1~4ページ	既設床暖がある厚さ12mm以上合板製複合フロア	[特殊]工法A	5・6ページ
		既設床暖がない複合フロア等	工法B	7ページ
		上貼り用小根太付温水マット	工法C	8ページ
		無遮音直貼りフロア(既設床暖「あり」「なし」共に可)	[特殊]工法D	9・10ページ
		無垢フロア(既設床暖「なし」のみ可)	工法E	11・12ページ

・必ずご覧下さい。

## 1 梱包内容の確認

①床材 厚さ6.4×巾303×長さ1,818mm 6枚入り (3.3m<sup>2</sup>)

②施工説明書 (本書)



※2枚で1部となっております。  
※施工説明書は2梱包に1部の割合で同梱しております。

※巾方向のピッチが異なります。  
通常施工は問題ございませんが、巾ずらし貼等、変則貼りをされる場合は、ご注意ください。溝・ジョイント位置がずれます。

## 2 既存床 (下地材) の確認

### 1 既存床の種類を確認

既存床の種類により、施工方法が異なります。必ず該当ページで確認してください。

次の既存床・下地材の上へは施工できません。

- ・遮音性能があるクッション材付きフロア
- ・クッション材付き無垢フロア
- ・プラスチック系床材 (クッションフロア、フロアタイルなど)
- ・パーケットフロア
- ・コンクリート系下地
- ・根太上への直接施工

### 2 既存床の調整

・下記のような既存床の状態の場合、適切な処置を行い、調整してください。

既存床の状態		対処方法
①表面状態	ワックス	既存フロアにワックスが塗布されている場合は剥離剤やサンダーなどで除去してください。ワックスが残った状態で施工した場合、床鳴りや接着不良の原因になります。
	表面剥がれ	既存床表面が剥がれて浮いている部分を除去してください。
	ヒワレ	ヒワレによる表面の凹凸がなくなるまでサンダーなどで均一に削ってください。
	汚れ	接着剤などが付着している場合や汚れがある場合はサンダーなどで除去してください。
②平滑性	不陸・段差	不陸は3mm/m以内・段差は1mm以内であることを確認してください。超える場合は、高い方を削るか低い部分に施工用接着剤を充填してください。
	突起	局所的な突起がある場合はサンダーなどで除去してください。
	凹み・穴	凹み・穴がある場合は施工用接着剤を充填して埋めてください。
③ゴミ・ホコリ		掃除機で除去し、固くしぼった雑巾でふき取ってください。
④湿気		既存床が湿っている場合は乾いてから施工してください。(含水率14%以下)
⑤床鳴り・浮き		<p>下地に床鳴り・浮きがある場合は、補修してください。 例…該当箇所へビスを打ち付け、下地材と固定することで改善します。 (幅反りによるフロア端部の浮き補修にも有効です。)</p> <p><b>❗【ご注意】</b> 床暖房設備上のフロア・無遮音直貼りフロアの補修は困難であり、また、フロアを施工することでは改善しませんので、あらかじめ現状を必ずお伝えください。</p>

### 3 二重床上に施工する場合

- ・建物の管理組合で規定されている床の遮音性能についての規定を確認してください。
- ・捨て貼り (5.5mm以上の合板) はパーティクルボードに直交するようにスクリーネイル38mm以上で約300mm以内のピッチで固定してください。
- ・捨て貼り合板の継ぎ目は、パーティクルボードの継ぎ目より、100mm以上離してください。

### 3 フロアの施工

1 既存床(下地材)の清掃 事前に既存床を清掃してゴミやほこりを除去してください。

#### 2 仮並べ

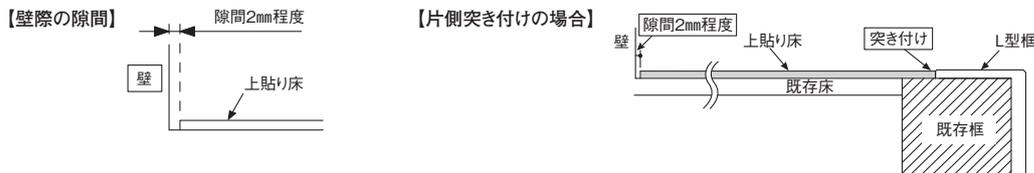
●天然木を使用しているため、1枚1枚の色柄が異なります。

施工する前に一度、仮並べを行い、色の濃淡、空柄など、部分的に片寄らないように、全体の色柄のバランスをご確認の上、施工してください。

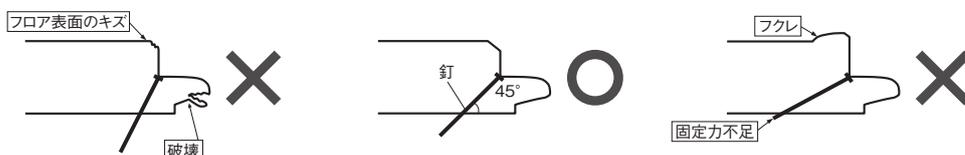
●巾方向の溝ピッチが異なります。

通常施工では問題ございませんが、巾ずらし貼り等変則貼りをされる場合は溝がずれますのでご注意ください。

3 フロアと壁際の際間 部屋の周囲には2mm程度の隙間を開けてください。片側突き付け(玄関框との取り合いなど)で施工する場合は対面側の壁際は必ず2mm程度の隙間を開けてください。



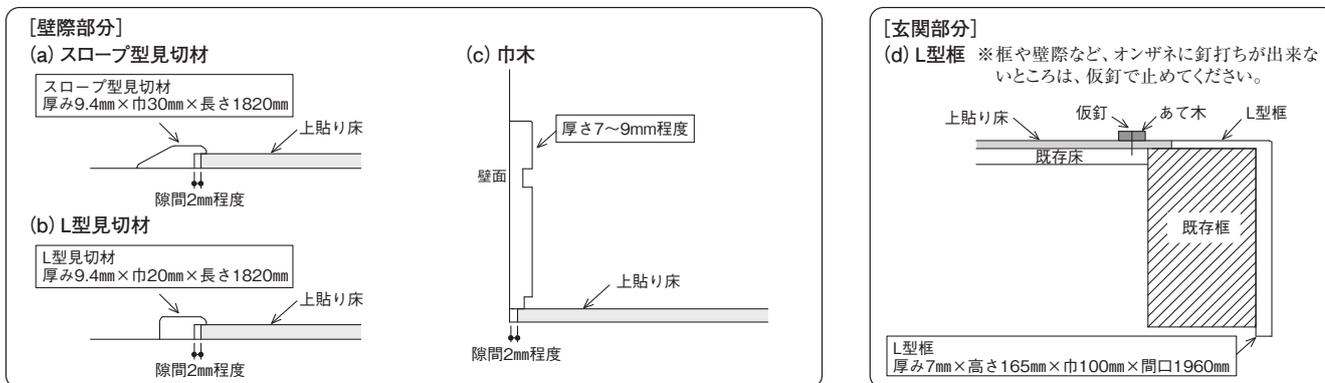
4 釘打ち 釘の打ち込みは、事前に釘頭が出ないように調整してから行ってください。釘打ちは必ず既存床とフロアが密着した状態でオンザネ上面に向かって斜め45度を目安に打ち込んでください。



【ご注意】  
・釘打ち機を立てすぎて打つと、オンザネ下部が破壊し、メンザネが入りにくくなります。また、釘打ち機の釘押し出し部がフロアの表面を傷つけることがあります。  
・釘打ち機を寝かせすぎて打つと、オンザネ上部が膨れることがあります。また、下地への貫通部が短くなり固定力が弱くなるおそれがあります。

#### 5 納まり

・本商品は、フロアの厚みに合わせた見切り材(スロープ型・L型)およびL型框を用意しています。



※納め部材を使用しない場合は、市販のコーキング(アクリル系)で隙間を充填することも可能です。

### 4 養生

- ・施工後は直射日光を避け、傷や汚れを防ぐために、養生シートを被せ、養生テープで固定してください。その上に合板、養生ボードを敷いて十分に養生してください。なお、養生シートとフロアの間に、ゴミなどが無いようにフロア表面を、必ず掃除してください。
- ・養生シートは必ず、壁際、サッシ際まで被せてください。養生シートが被っていない場所は、直射日光にあたり、色が変化する場合があります。
- ・養生シートは平面(フラット)タイプをご使用ください。凹凸(エンボス)タイプの養生シートを使用すると、艶ムラや養生シートの跡が残ったりしますので使用しないでください。
- ・養生テープは当社別売の養生テープ(YT-T3)をご使用ください。梱包用テープなどを使用した場合は、粘着力が強く、フロアの化粧面を破壊させたり、粘着剤が残ったりする可能性があります。

#### ■床暖房運転までの養生期間

接着剤が硬化するまで、十分に養生してから床暖房の運転を開始してください。

##### ①施工直後に床暖房の試運転をしない場合の養生期間の目安

5℃以下で6日以上、5～15℃で4日以上、15℃以上で2日以上養生してから床暖房の運転を開始してください。

##### ②施工直後に床暖房の試運転を行う場合の養生期間の目安

試運転後、24時間以上養生してから床暖房の運転を開始してください。

【ご注意】 養生期間が短いと、接着不良になり、スキ、反り、床鳴りなどの原因となります。

## 5 お引渡しまでの間のご注意

### ■換気について

当商品はF☆☆☆☆タイプとなっておりますが、お引渡しまでの間、できるだけ居室等の換気につとめてくださいますようお願いいたします。

### ■水ぬれ等に対して

工事完了後は、雨水にぬらさないよう窓の閉め忘れなどにご注意ください。万一水ぬれした場合はすぐに拭き取り、十分に乾かしてください。ぬれたまま放置しておくと、シミになることがあります。

## 6 フリーワックス

**【工事業者様へ】 施工終了後、この施工説明書はクリーニング業者様へお渡しください。**

### ■ワックスについて

・フリーワックス仕様になっておりますので、ワックスがけは必要ありません。

・ワックスがけを希望される場合、ワックスがけは可能です。

但し、ワックスを塗布されますと、表面の平滑性・艶の変化などが発生し、フロア表面の美観を損ねることがあります。

また、フロアの表面がワックスの被膜となるため、傷の付きにくさ、抗菌・抗ウイルス性等の塗膜性能が発揮されなくなります。

**ワックスがけをされる場合は、下表に記載のものをご使用ください。**

・ワックスがけをされる場合は、ワックスに記載の使用上の注意をよく読んでからご使用ください。  
また、事前に試し塗り等で仕上げの確認を行うことをお勧めします。

### ポイント

- ・ワックスは木質床用水性樹脂ワックスを使用してください。
- ・ロウタイプは使用しないでください。

メーカー名	商品名	業務用	家庭用
(株)リンレイ	ハイテックフローリングコートつや消し20 (JFPAマーク有り品)	○	—
	ハイテックフローリングコートつや消し40	○	—
	ハイテックフローリングコート ノンブライト	○	○
(株)リスダンケミカル	ナチュラルック	—	○
	ノンスリップコート	○	—
	ノングロスコート匠	○	—

## ワックス使用時の注意事項

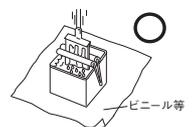
・ワックスは絶対に床の上に流さないでください。

床面にワックスを流したり、しずくが落ちるような布で塗ったりすると、部分的にフロア表面の美観を損ねることがあります。



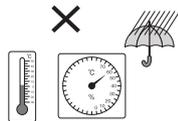
・ワックスはきれいな布に含ませ、しずくが落ちない程度に絞って床面にムラなく塗りひろげてください。

・容器の下にはビニール等を敷いてください。



・室内の温度が5℃以下の時や雨の日で湿度が極端に高い時はワックスは使用しないでください。

床の表面が白っぽくなる原因となります。



・ワックスがけの際は、換気を行ってください。

湿気がこもり、ムラ等の原因になります。

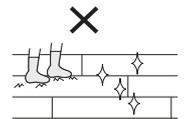


・ワックスがけの前後で化学雑巾は使用しないでください。

床の表面が白っぽくなる原因となります。

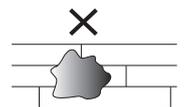
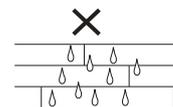


・ワックスを厚く塗りすぎると、歩行時にワックスの被膜の割れる音が発生することがあります。



・ワックスをかけるときは、床面が十分に乾燥している（水気がない）ことを確認してください。

・床用洗剤を使用する時は、洗剤分が床に残らないように拭き取ってからワックスを塗ってください。



# WOODTEC

朝日ウッドテック株式会社

本社 大阪市中央区南本町4-5-10 〒541-0054

東京支店 東京都江東区新木場1-4-6 〒136-0082

●商品については下記営業までお問い合わせください。

東京(東京千葉・東関東チーム) 03-5569-5512

支店 神奈川チーム 03-5569-7701

東部特需ユニット 03-5569-5513

スペースソリューション 03-5569-5514

営業部

大阪(大阪チーム) 06-6245-9501

本社 西部特需ユニット 06-6245-9502

スペースソリューション 06-6245-9503

営業部

北海道(札幌) 011-207-1177

東北(仙台) 022-287-0145

北関東(上尾) 048-775-0471

東京西(府中) 042-361-3634

名古屋 052-238-2081

北陸(金沢) 076-292-1830

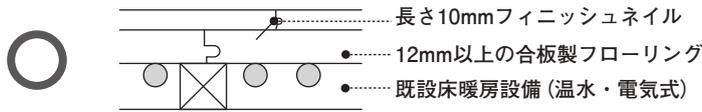
中四国(岡山) 086-897-3791

九州(福岡) 092-481-5228

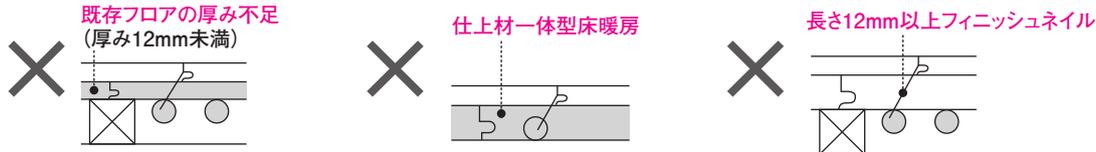
## [特殊] 工法① 既存床が「既設床暖がある12mm以上合板製複合フロア」

### 施工のポイント

- 本工法は、「既設床暖房設備（温水・電気式）+厚さ12mm以上の合板製複合フロア」上のみ施工可能です。
- 施工釘は、長さ10mmのフィニッシュネイルを使用し、1箇所あたり2本打ちしてください。



**❗【ご注意】** 下記の場合、既設床暖房設備を固定釘で打ち抜き、漏水・漏電などが発生する危険性がありますので、施工しないでください。



### 1 既存床の確認

次の既存床の上のみ施工可能です。

既設床暖房設備(温水・電気式)へ施工された、厚さ12mm以上の合板製フロア  
 ・木質繊維板を複合したものを含む ・仕上材一体型床暖房およびクッション材付のものは除く

### 2 準備物

(1) 使用する接着剤 下記の接着剤をご使用ください。

	メーカー名	商品名		使用量の目安
				工法A
ウレタン 接着剤	朝日ウッドテック (株)	グルーWG-902X2	(カートリッジタイプ・760ml/本 2本入)	1坪/本
		グルーWG-902X6	(カートリッジタイプ・760ml/本 6本入)	
		グルーWG-902X12	(カートリッジタイプ・760ml/本 12本入)	
	アイカ工業(株)	JW-400K (4)	(ジャンボカートリッジタイプ・760ml/本 12本入)	1坪/本
	ユニシ (株)	KU928C-X	(カートリッジタイプ・850ml/本 12本入)	1坪/本
変成シリコン 接着剤	オート化学工業(株)	オートアドハーネダジャンボ	(カートリッジタイプ・850ml/本 12本入)	1.2坪/本
	朝日ウッドテック (株)	WG-AH102	(カートリッジタイプ・760ml/本 2本入)	1坪/本
	積水フーラー	#55-S	(マルチパック 760ml/本 12本入)	1坪/本

**❗【ご注意】** ・他の接着剤を使用しますと、フロア施工後、床鳴りや接着不良、スキ、反りなどのトラブルの原因となります。  
 ・使用量の目安は平滑な下地材へ塗布した際の量です。  
 既存床表面に凹凸がある場合は、使用量が増えることがございますので、あらかじめご確認ください。

(2) フロア固定用の釘 10mm長さのフィニッシュネイルのみ使用可能です。

使用可能	使用不可		
フィニッシュネイル	フィニッシュネイル	フロアステープル	フロアネイル
長さ：10mm	長さ：12mm以上		
 (1箇所あたり2本打ち)			

#### [工具例]

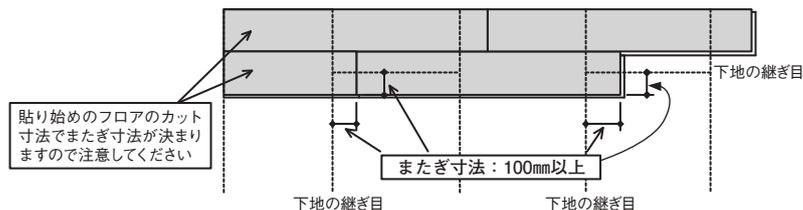
	メーカー	商品名
釘 (10mmフィニッシュネイル)	(株) マキタ	F10チャ / F10ベージュ / F10シロ
	マックス (株)	F10M0シロ / F10M0チャ / F10M0ベージュ / F10M0-S
フィニッシュネイルラ	マックス (株)	TA-225SF1

**❗【ご注意】** 指定以外の釘の使用や釘打ち方法をされますと、上貼り床材や下地材の破損、固定力不足などのトラブルの原因となります。

➡ 右のページ (6ページ) に続きます。

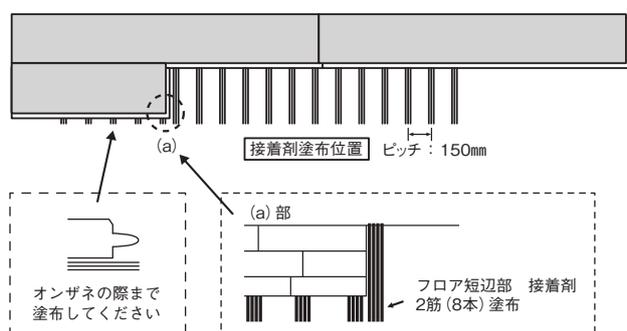
### 3 割り付け

フロアの継ぎ目と下地の継ぎ目が**100mm以上**離れるように割り付けてください。  
(必ずまたぎ貼りをしてください)



### 4 接着剤の塗布

接着剤は、下図のように下地に**150mmピッチ**で塗布してください。塗布は**オンザネの際まで**塗布してください。



[接着剤ノズルの種類]

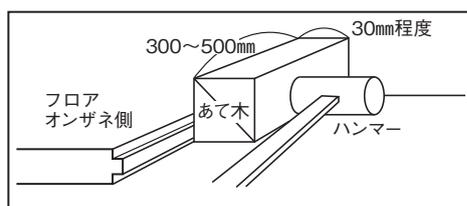
使用可能	
4穴ノズル	
ノズルの形状	接着剤断面

※1穴ノズルは使用しないでください。  
接着剤が吹き出す可能性があります。

- 【ご注意】**
- ・接着剤に記載の使用方法をよく読んで正しくご使用ください。
  - ・床材の表面に接着剤が付いた時は、すぐに乾いた布かアルコールを含ませた布で拭き取ってください。
  - ※接着剤は湿気で固まりますので、水拭きはしないでください。

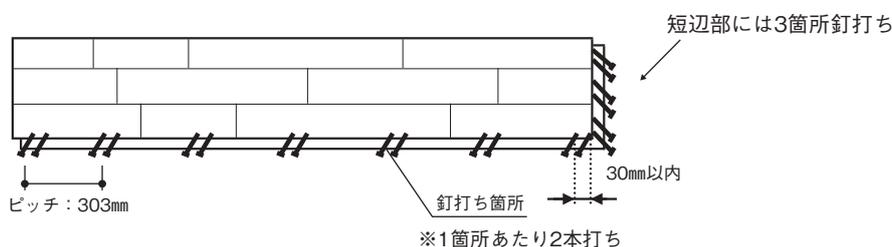
### 5 フロアの嵌合

フロアを嵌合するときは、必ず「**あて木**」等をそえて、ハンマーでたたいて嵌合してください。  
ハンマーで直接フロアをたたくとフロアが破損します。



### 6 釘打ち位置

下図のように**長辺部は303mmピッチ**で7箇所、**短辺部は3箇所**打ち込んでください。  
フィニッシュネイルは**1箇所あたり2本打ち**で施工してください。



## 工法③ 既存床が「既設床暖がない複合フロア等」

### 1 既存床・下地材の確認

次の既存床・下地材の上のみ施工可能です。(既設床暖房が無い場合のみ施工できます)

- ・合板製複合フロア (木質繊維板を複合したものを含む／クッション材付のものは除く)
- ・パーティクルボード、MDF製フロア
- ・合板、パーティクルボード、MDF (二重床のベースパネル上は5.5mm以上の合板または合板製フロアを施工したもの)

### 2 準備物

(1) 使用する接着剤 下記の接着剤をご使用ください。(接着剤の種類は工法③・④共通です)

	メーカー名	商品名	使用量の目安	
			工法B	工法C
ウレタン接着剤	朝日ウッドテック (株)	グルーWG-902X2 (カートリッジタイプ・760ml/本 2本入)	1坪/本	1.5坪/本
		グルーWG-902X6 (カートリッジタイプ・760ml/本 6本入)		
		グルーWG-902X12 (カートリッジタイプ・760ml/本 12本入)		
	アイカ工業(株)	JW-400K (4) (ジャンボカートリッジタイプ・760ml/本 12本入)	1坪/本	1.5坪/本
変成シリコン接着剤	コニシ (株)	KU928C-X (カートリッジタイプ・850ml/本 12本入)	1坪/本	1.5坪/本
	オート化学工業(株)	オートアドハーネダジャンボ (カートリッジタイプ・850ml/本 12本入)	1.2坪/本	1.7坪/本
	朝日ウッドテック (株)	WG-AH102 (カートリッジタイプ・760ml/本 2本入)	1坪/本	1.5坪/本
	積水フーラー	#55-S (マルチパック 760ml/本 12本入)	1坪/本	1.5坪/本

- ❗【ご注意】 他接着剤を使用しますと、フロア施工後、床鳴りや接着不良、スキ、反りなどのトラブルの原因となります。  
 ・使用量の目安は平滑な下地材へ塗布した際の量です。  
 既存床表面に凹凸がある場合は、使用量が増えることがございますので、あらかじめご確認ください。

(2) フロア固定用の釘 必ず下記の釘をご使用ください。

使用可能		使用不可	
フロアステープル	フィニッシュネイル	フロアステープル	フロアネイル
肩幅：4mm 長さ：25mm以上	長さ：25mm以上	肩幅：5mm以上	
	(1箇所あたり2本打ち)		

- ❗【ご注意】 指定以外の釘の使用や釘打ち方法をされますと、上貼り床材や下地材の破損、固定力不足などのトラブルの原因となります。

### 3 割り付け

### 4 接着剤の塗布

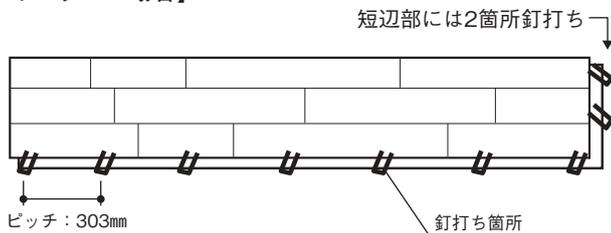
### 5 嵌合

工法①と同様です。  
6ページをご参照ください。

### 6 釘打ち位置

下図のように長辺部は303mmピッチで7箇所、短辺部は2箇所打ち込んでください。  
 ※フィニッシュネイルを使用する場合は、1箇所あたり2本打ちで施工してください。

【ステープルの場合】



【フィニッシュネイルの場合】



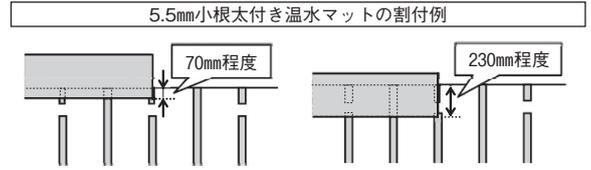
# 工法③ 下地が「上貼り用小根太付温水マット」

## 施工のポイント

### ●またぎ貼りをしてください。

フロアの継ぎ目と下地の継ぎ目が100mm以上離れるように割り付けてください。

※フロアの継ぎ目が釘打ち禁止箇所に来る場合は、小根太に釘が打てる様に割り付け位置を調整してください。右図の場合のフロア割り付けは、マットの継ぎ目から70mm程度または230mm程度になります。



## 1 下地材の確認

次の下地材の上のみ施工可能です。

上貼り用小根太付温水マット※機器の工事および検査(システムメーカー様指定の気密検査など)が完了していることをご確認ください。

## 2 準備物

(1) 使用する接着剤 必ず下記接着剤をご使用ください。

工法⑧と同様です。7ページの②準備物に記載の接着剤をご使用ください。

(2) フロア固定用の釘 必ず下記の釘をご使用ください。

使用可能		使用不可	
フロアステーブル 肩幅：4mm 長さ：25mm以上	フロアステーブル 肩幅：5mm以上	フィニッシュネイル	フロアネイル

**!**【ご注意】 指定以外の釘の使用や釘打ち方法をされますと、上貼り床材や下地材の破損、固定力不足などのトラブルの原因となります。

## 3 割り付け 上貼り用小根太付温水マットに施工する場合は、下記の割り付け例の図を参考に確実な作業をお願い致します。

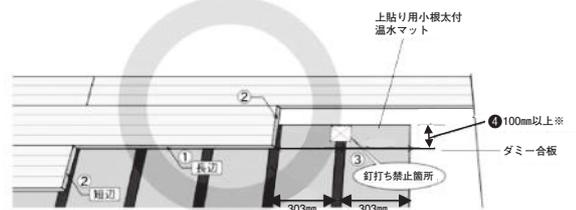
### ○ 上貼り用小根太付温水マット上での正しいフロア割り付け例

#### 割り付けのポイント

- ①フロアの長さ方向と小根太を必ず直交させてください。
- ②フロアの短辺の継ぎ目は、必ず小根太上で行ってください。
- ③釘打ち禁止箇所にフロアの短辺の継ぎ目がこないように割り付けてから施工してください。
- ④またぎ貼りをしてください。

フロアの継ぎ目と下地の継ぎ目が100mm以上離れるように割り付けてください。

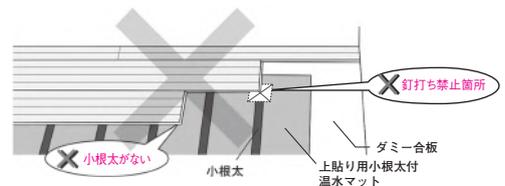
※フロアの継ぎ目が釘打ち禁止箇所に来る場合は、小根太に釘が打てる様に割り付け位置を調整してください。(上記「施工のポイント」をご参照ください。)



### ✕ 間違ったフロア割り付け例

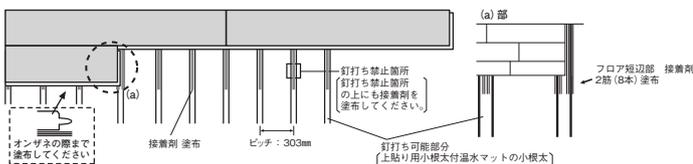
小根太の上以外の部分ではフロアを継いだり、フロアステーブルを打ったりしないでください。

**!**【ご注意】 正しくフロア割り付けを行わないと、温水パイプにフロアステーブルを打ち込むことによる水漏れや、施工後のフロアのスキなどの不具合が発生する原因となります。



## 4 接着剤の塗布

- ・接着剤は、下図のように下地(釘打ち可能部分)に303mmピッチで製品と直交するように、フロア長辺部及び短辺部のオンザネのきわまで塗布してください。また、フロア短辺部の接続箇所にも必ず塗布し、左右どちらのフロアの下にも接着剤が入るようにしてください。
- ・小根太の延長上にある釘打ち禁止箇所の上にも接着剤を塗布してください。



#### 【接着剤ノズルの種類】

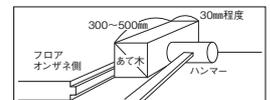
使用可能	
4穴ノズル	

※1穴ノズルは使用しないでください。接着剤が吹き出す可能性があります。

- ・接着剤に記載の使用方法をよく読んで正しくご使用ください。
- ・床材の表面に接着剤が付いた時は、すぐに乾いた布かアルコールを含ませた布で拭き取ってください。
- ※接着剤は湿気で固まりますので、水拭きはしないでください。

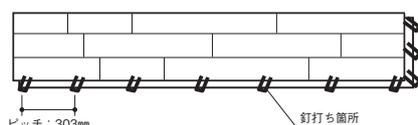
## 5 フロアの嵌合

フロアを嵌合するときは、必ず「あて木」等をそえて、ハンマーでたたいて嵌合してください。ハンマーで直接フロアをたたくとフロアが破損します。



## 6 釘打ち位置

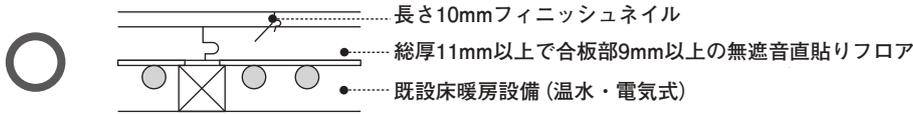
下図のように長辺部は303mmピッチで7箇所、短辺部は3箇所打ち込んでください。



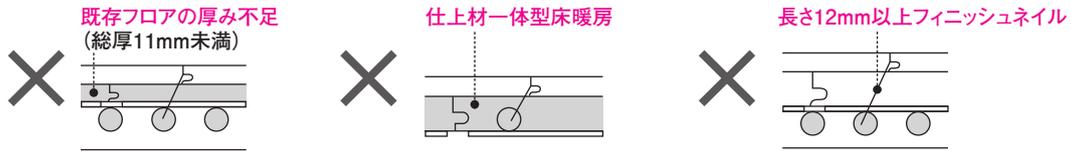
## 工法① 既存床が「無遮音直貼りフロア」

### 施工のポイント

- 本工法は、「総厚11mm以上で合板部の厚み9mm以上の無遮音直貼りフロア」上のみ施工可能です。
- 施工釘は、長さ10mmのフィニッシュネイルを使用し、1箇所あたり2本打ちしてください。



**❗【ご注意】** 下記の場合、既設床暖房設備を固定釘で打ち抜き、漏水・漏電などが発生する危険性がありますので、施工しないでください。また、下地フロアへは絶対にフィニッシュネイルを直接打ち込まないでください。



- 上貼りフロアの施工前に墨出しを行い、上貼りと下地フロアの継ぎ目が10mmよりも近づく箇所の下地材目地処理を必ず実施してください。

## 1 既存床の確認

次の既存床の上のみ施工可能です。

無遮音直貼りフロア (総厚11mm以上で木質部の厚み9mm以上であること)  
※既設床暖房設備(温水・電気式)が「ある場合」と「ない場合」のどちらも施工ができます。

**❗【ご注意】** 次のような既存床へは施工できません。  
×遮音性能のある直貼りフロア ×MDF基材のフロア ×仕上材一体型床暖房 など

## 2 準備物

(1) 使用する接着剤 必ず下記の「缶入りタイプのウレタン接着剤」を、ご使用ください。

メーカー名	商品番号	内容量	使用量の目安	可使用時間	作業温度範囲
朝日ウッドテック(株)	夏用 グルー WG-910S/915S	10/15kg	450~550 (g/m <sup>2</sup> )	40分	夏用: 15~35°C 冬用: 5~25°C
	冬用 グルー WG-910W/915W	10/15kg			
コニシ(株)	夏用 KU-928RS	15kg	500~600 (g/m <sup>2</sup> )		
	冬用 KU-928RW	15kg			

**❗【ご注意】** ・他の接着剤を使用しますと、フロア施工後、床鳴りや接着不良、スキ、反りなどのトラブルの原因となります。  
・使用量の目安は平滑な下地材へ塗布した際の量です。  
既存床表面に凹凸がある場合は、使用量が増えることがございますので、あらかじめご確認ください。

(2) フロア固定用の釘 10mm長さのフィニッシュネイルのみ使用可能です。

使用可能	使用不可	
フィニッシュネイル 長さ: 10mm	フィニッシュネイル 長さ: 12mm以上	フロアステーブル フロアネイル
(1箇所あたり2本打ち)		

[工具例]

	メーカー	商品名
釘 (10mmフィニッシュネイル)	(株)マキタ	F10チャ/F10ページュ/F10シロ
	マックス(株)	F10M0シロ/F10M0チャ F10M0ページュ/F10M0-S
フィニッシュネイルラ	マックス(株)	TA-225SF1

**❗【ご注意】** 指定以外の釘の使用や釘打ち方法をされますと、上貼り床材や下地材の破損、固定力不足などのトラブルの原因となります。

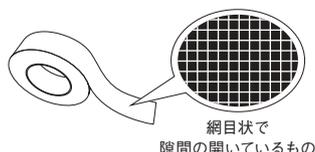
(3) 既存床の目地処理用のグラスファイバーテープ

既存床の目地処理にグラスファイバーテープを使用します。

35mm巾以上で、網目状に隙間の空いた目地処理用のグラスファイバーテープをご用意ください。

[推奨品]

メーカー	商品名	仕様
吉野石膏(株)	タイガー Gファイバーテープ	・厚み0.2mm
	タイガー GファイバーテープN	・幅35mmまたは50mm



➡ 右のページ (10ページ) に続きます。

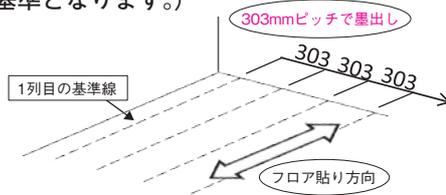
### 3 割り付け

上貼りフロアの継ぎ目と既存床の継ぎ目が、**短手は100mm以上離して割り付け**、**長手はなるべく離れるように割り付けてください。**



### 4 フロア貼り基準線の墨出し

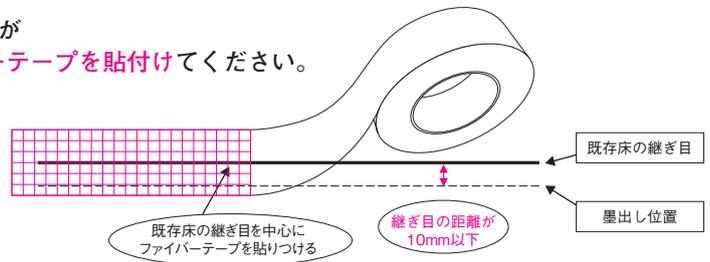
下図のように1列目フロアの墨出し(基準線)を行い、その線から**フロアを貼る方向と平行に、303ピッチで墨出しをしてください。**(フロア長手部の貼り基準となります。)



### 5 既存床の目地処理

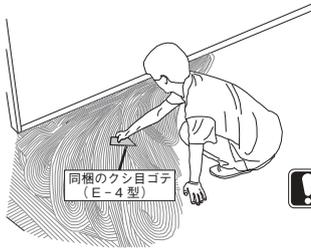
4で出した基準(上貼りフロアの継ぎ目部)と既存床の継ぎ目が**10mmよりも近付く箇所の、既存床の継ぎ目全箇所へファイバーテープを貼付けてください。**

**【ご注意】** ファイバーテープメーカー様指定の、安全上の注意、使用上の注意を読み正しくご使用ください。



### 6 接着剤の塗布

接着剤は、下図のように**既存床の全面に塗布**してください。  
ファイバーテープを貼り付けた箇所も、格子を埋めるように、**上から全面に塗布**してください。

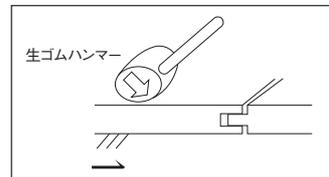


- 【ご注意】**
- ・接着剤に記載の使用方法をよく読んで正しくご使用ください。
  - ・床材の表面に接着剤が付いた時は、すぐに乾いた布かアルコールを含ませた布で拭き取ってください。※接着剤は湿気で固まりますので、水拭きはしないでください。
  - ・接着剤は専用の「クシ目ゴテ」で塗り広げてください。木切れなどを用いますと、規定量塗布できないことがあります。

### 7 フロアの嵌合

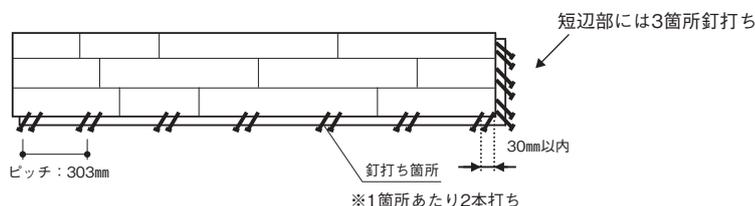
フロアを嵌合するときは、**生ゴムハンマー**(色: 橙色、材質: 生ゴム、重量: 約450g、ゴム硬度: 約60度)を使用して嵌合してください。

**【ご注意】** ・劣化して固くなった生ゴムハンマーは使用しないでください。  
・フロア嵌合部からの接着剤のはみ出しに注意してください。



### 8 釘打ち位置

下図のように**長辺部は303mmピッチで7箇所、短辺部は3箇所**打ち込んでください。  
フィニッシュネイルは**45°で1箇所あたり2本打ち**で施工してください。



**【ご注意】** 下地フロアへは、絶対にフィニッシュネイルを直接打ち込まないでください。  
特に床暖房設備がある場合は、「温水パイプ」や「電気配線」を打ち抜いて、漏水・漏電の原因となる恐れがあります。

## 施工のポイント

- 本工法は、「捨て貼り施工がされている無垢フロー」上のみ施工可能です。
- 無垢フローの下に床暖房が設置されている場合は施工できません。
- 上貼り前に、既存床の床鳴り・浮きを、ビスを打ち込んで木下地と固定することで補修してください。  
この方法は幅反りによるフロア端部の浮き補修にも有効です。



## 1 既存床の確認

次の既存床の上のみ施工可能です。

**無垢フロー** (捨て貼り施工がされていること)

- ・塗装が、「無塗装」、「ウレタン塗装」、「オイル塗装」のいずれかの場合のみ施工できます。
- ・フロア表面が「平滑」な場合のみ施工できます。

- 【ご注意】** 次のような既存床へは施工できません。
- ×無垢フローの下に床暖房が設置されている場合
  - ×塗装が上記以外、もしくはワックスが塗布されているフロア (表面の塗装・ワックスを除去してから施工してください。)
  - ×表面に凹凸加工が施されているフロア
  - ×クッション材が付いているフロア
  - ×パーケットフロア など

## 2 準備物

(1) 使用する接着剤 必ず下記の「缶入りタイプのウレタン接着剤」を、ご使用ください。

メーカー名	商品番号		内容量	使用量の目安	可使用時間	作業温度範囲
朝日ウッドテック(株)	夏用	グルー WG-910S/915S	10/15kg	450~550 (g/m <sup>2</sup> )	40分	夏用: 15~35℃ 冬用: 5~25℃
	冬用	グルー WG-910W/915W	10/15kg			
コニシ(株)	夏用	KU-928RS	15kg	500~600 (g/m <sup>2</sup> )		
	冬用	KU-928RW	15kg			

- 【ご注意】**
- ・他の接着剤を使用しますと、フロア施工後、床鳴りや接着不良、スキ、反りなどのトラブルの原因となります。
  - ・使用量の目安は平滑な下地材へ塗布した際の量です。

既存床表面に凹凸がある場合は、使用量が増えることがございますので、あらかじめご確認ください。

(2) フロア固定用の釘 必ず下記の釘をご使用ください。

使用可能	使用不可		
フロアステーブル	フロアステーブル	フィニッシュネイル	フロアネイル
肩幅: 4mm 長さ: 25mm以上	肩幅: 5mm以上		

- 【ご注意】** 指定以外の釘の使用や釘打ち方法をされますと、上貼り床材や下地材の破損、固定力不足などのトラブルの原因となります。

➡ 右のページ (12ページ) に続きます。

### 3 割り付け

上貼りフロアの継ぎ目と既存床の継ぎ目が、**短手は100mm以上離して割り付け**、**長手はなるべく離れるように割り付けてください。**



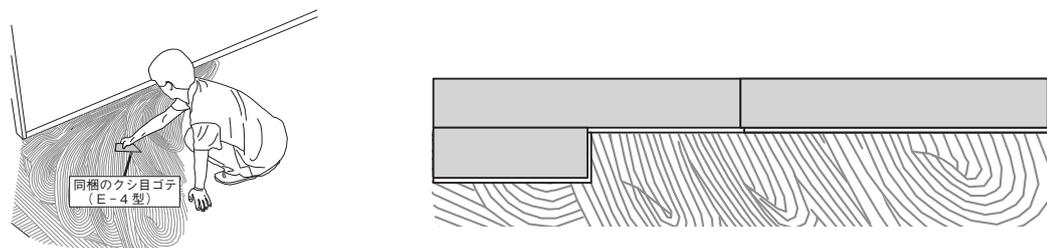
### 4 既存床の調整

上貼り前に、**既存床の床鳴り・浮きを、ビスを打ち込んで木下地と固定することで補修してください。**  
この方法は幅反りによるフロア端部の浮き補修にも有効です。(11ページの施工のポイント参照)



### 5 接着剤の塗布

接着剤は、下図のように**既存床の全面に塗布**してください。

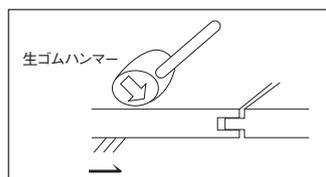


- 【ご注意】**
- ・既存無垢フロアの表面に反りや目隙などの凹部分がある場合は、接着剤で埋めてください。
  - ・接着剤に記載の使用方法をよく読んで正しくご使用ください。
  - ・床材の表面に接着剤が付いた時は、すぐに乾いた布かアルコールを含ませた布で拭き取ってください。  
※接着剤は湿気で固まりますので、水拭きはしないでください。
  - ・接着剤は専用の「クシ目ゴテ」で塗り広げてください。木切れなどを用いますと、規定量塗布できないことがあります。

### 6 フロアの嵌合

フロアを嵌合するときは、生ゴムハンマー（色：橙色、材質：生ゴム、重量：約450g、ゴム硬度：約60度）を使用して嵌合してください。

- 【ご注意】**
- ・劣化して固くなった生ゴムハンマーは使用しないでください。
  - ・フロア嵌合部からの接着剤のはみ出しに注意してください。



### 7 釘打ち位置

下図のように**長辺部は303mmピッチで7箇所**、**短辺部は3箇所**打ち込んでください。

